

第13章 学内共同教育研究施設等

第2節 生涯学習教育研究センター

資料1 弘前大学生涯学習教育研究センター主催・共催 公開講座の参加者数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市民一般向け公開講座	13回(延べ607人)	32回(延べ902人)	16回(延べ237人)
実践者向け公開講座	27回(延べ358人)	3回(延べ105人)	11回(延べ117人)
専門家向け公開講座	31回(延べ509人)	15回(延べ395人)	14回(延べ672人)
合計	71回(延べ1,474人)	50回(延べ1,402人)	41回(延べ1,026人)

資料2 自治体との連携事業実績

<p>【平成27年度】</p> <p>市民一般向け公開講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○つがる市教育委員会共催 つがる市連続講演会「地域課題・生活課題に取り組む人材育成を図る」(全3回) ○六ヶ所村教育委員会共催 「トークと歌でたどる、私たちの昭和」(全1回) ○むつ市教育委員会共催 むつ市連続講演会「少子高齢化社会がもたらす地域課題」(全2回) ○三沢市教育委員会共催 「文化ボランティアの育成をめざして」(全2回) <p>実践者向け公開講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○弘前市共催 託児付の育児支援連続講座「これからの家計のあり方」(全2回) 「放課後の子どもの居場所づくりを考える研修会」(全2回) 産み育てたいまちひろさきPR事業「仮想家族会議～近くて遠い未来の家族像～」(全1回) ○中泊町中央公民館共催「自分史を作ってみよう」(全6回) ○中泊町教育委員会共催 中泊町子育て支援講演会「アロマでこころすっきり体験」(全2回) ○佐井村教育委員会共催 佐井村子育てサークル「ぼぷり」の活動支援「ちびっ子海賊の佐井村探険」(全3回) ○七戸町教育委員会共催 七戸町生涯学習地域連携講座「『福祉のまち』づくりをめざして」(全2回) <p>専門家向け公開講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○弘前市教育委員会共催 「学区まなびい」講座運営担当者研修会(全1回) 「弘前市公民館関係職員研修会」(全3回) 地区公民館と弘前大学の連携事業「これからの地域農業を考える」(全2回) ○藤崎町教育委員会 「家庭教育相談員支援事業」(全11回) ○青森県後援「地域おこし協力隊研修会」(全3回)

【平成28年度】

市民一般向け公開講座

- 弘前市共催
託児付の育児支援連続講座「パパラボあそび研究所」(全3回)
- 弘前市教育委員会共催
地区公民館と弘前大学の連携事業「トークと歌でたどる、私たちの昭和」(全1回)
- 中泊町中央公民館共催「自分史を作ってみよう」(全6回)
- 中泊町教育委員会共催
「当たり前からの開放!!世界から見た日本の子育て」(全2回)
「ママのためのリフレッシュ講座」(全1回)
- 鱒ヶ沢町教育委員会共催「トークと歌でたどる、私たちの昭和」(全1回)
- むつ市教育委員会共催
「地域包括ケアの時代の家族介護を考える」(全1回)
- つがる市教育委員会共催
「地域課題・生活課題に取り組む人材育成を図る」(全3回)
- 三沢市教育委員会共催
「青森県の縄文遺跡と世界遺産」(全2回)

実践者向け公開講座

- むつ市教育委員会共催
「文化ボランティアガイドの育成を目指して」(全1回)
- 七戸町教育委員会共催
七戸町生涯学習地域連携講座「『福祉のまち』づくりをめざして」(全2回)

専門家向け公開講座

- 弘前市共催
「放課後の子どもの居場所づくりを考える研修会」(全2回)
- 弘前市教育委員会共催
「弘前市公民館関係職員研修会」(全3回)
- 青森県後援「地域おこし協力隊研修会」(全4回)

【平成29年度】

市民一般向け公開講座

- 中泊町中央公民館共催「自分史を作ってみよう」(全6回)
- 中泊町教育委員会共催「ママのためのリフレッシュ講座」(全2回)
- むつ市教育委員会共催
「若者の力が地域づくりに活かされる時」(全1回)
- つがる市教育委員会共催
「地域農業について考えるー国際化が進展する中での青森の食と農ー」(全1回)
- 三沢市教育委員会共催
「Powerful Voices and Learning for Students in 三沢
ー映像をつくって自分達の想いを伝えようー」(全3回)

実践者向け公開講座

- 弘前市共催
託児付の育児支援連続講座
「パパラボあそび研究所 vol.2 チビタビのすすめ」(全3回)
- むつ市教育委員会共催
「子どもの目線から考える, 子どもたちの居場所・放課後とは」(全1回)

専門家向け公開講座

- 弘前市共催
「放課後の子どもの居場所づくりを考える研修会」(全2回)
- 弘前市教育委員会共催「弘前市公民館関係職員研修会」(全3回)
- 青森市教育委員会共催「青森市社会教育関係職員スキルアップ研修会」(全3回)
- つがる市教育委員会共催
「地域の福祉についてー無口な高齢者との接し方を考えるー」(全1回)
- 七戸町教育委員会共催
七戸町生涯学習地域連携講座「歌って踊って健康づくり」(全1回)
- 青森県後援「地域おこし協力隊研修会」(全3回)

資料3 「弘前大学白神自然環境人材育成講座」の履修生数

- ・平成28年度第一期生 10名(男6名、女4名)
- ・平成29年度第二期生 3名(男2名、女1名)

第4節 アイソトープ総合実験室

資料1 沿革年表

1952年（昭和27）7月16日

放射性同位元素研究室設置要項が評議会で承認され、医学部臨床研究棟内2室を改造して開設され、弘前大学における放射性同位元素を使用した研究開始。

1960年（昭和35）9月17日

放射性同位元素研究室総合実験室の竣工。放射性同位元素使用の承認（使第140号）。

1982年（昭和57）3月

現在の場所に移転新築。施設面積788m²。

1999年（平成11）10月1日

医学部RI学生実習室を併設し、アイソトープ総合実験室に改組。

2000年（平成12）4月1日

増改築工事が竣工し、総面積1,305 m²の新施設として全館運用開始。

2009年（平成21）3月

放射線モニタリングシステム更新。

2011年（平成23）10月

排気設備改修工事。

資料2 歴代室長、放射線取扱主任者 (アイソトープ総合実験室へ改組以降)

歴代室長

氏名	所属	就任	退任
阿部 由直	医学研究科	1996. 4. 8	2009. 2. 9
土田 成紀	医学研究科	2009. 3. 10	2016. 3. 31
床次 眞司	被ばく医療総合研究所	2016. 4. 1	

歴代放射線取扱主任者

氏名	所属	選任	解任
佐山 洋	アイソトープ総合実験室	1989. 4. 1	2009. 3. 31
阿部 由直	医学研究科	2000. 2. 1	2009. 2. 9
樽澤 孝悦	保健学研究科	2000. 2. 1	2009. 9. 30
齋藤 美希	アイソトープ総合実験室	2009. 4. 1	
中原 岳久	保健学研究科	2016. 6. 1	
門前 暁	保健学研究科	2016. 6. 1	

資料3 登録利用実績（平成30年6月現在）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実験計画書承認数 (件)	54	49	48	46	46	46	45	41	37	36
放射線業務従事者 登録者数 (人)	249	274	272	263	254	263	272	244	283	249
利用件数 (件)	224	219	188	99	224	311	148	61	73	
利用人数 (人)	222	239	232	227	226	232	236	211	252	

資料4 学生実習利用（学科別定員）

	科目名	対象学年	人数	使用核種
医学科	生化学実習	2年	130名	^{32}P
保健学科	放射線科学実験	3年	40名	^{32}P , ^{131}I , ^{137}Cs — $^{137\text{m}}\text{Ba}$
	放射線安全管理学実験	4年	40名	^{32}P
保健学研究科	放射線安全管理学特論	博士前期課程	1～5名	

第6節 大学出版会

資料1 刊行数の推移（平成21年度から平成29年度）

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
刊行数	20	21	16	22	17	15	15	19	13

資料2 弘前大学出版会賞受賞作品

開催回 (開催年度)	受賞作品
第1回 (平成22年度)	津軽の華 あっぱれ！津軽の漆塗り ようこそ、フランス料理の街へ。 校長日記 養護学校 365days Dr. 中路の健康医学講座 津軽から発信！国際協力キャリアを生きる JICA編
第2回 (平成23年度)	日本語と英語で読む津軽学入門 教師のための紫外線講座 紫外線が子どもをねらう
第3回 (平成24年度)	Voices from the Snow ものづくりに生きる人々 一旧城下町・弘前の職人
第4回 (平成25年度)	Seishu Hanaoka and His Medicine チーム・オール弘前の一年 一岩手県野田村の復興支援・交流の記録
第5回 (平成26年度)	複製 太宰治自筆ノート まいまいさんとなめくじさん
第6回 (平成27年度)	山田野 一陸軍演習場・演習廠舎と跡地の100年一
第7回 (平成28年度)	りんごをアップルとは呼ばせない 一津軽りんご人たちが語る日本農業の底力一
第8回 (平成29年度)	植物細胞壁実験法
第9回 (平成30年度)	再生可能エネルギーで地域を変える

第7節 資料館

資料1 資料館 企画展

第1回 あ地震からX年—記録された地震から学ぶ—	2013年	5月16日～	8月8日
第2回 白神標本保存百年プロジェクト —標本が語りだす—	2013年	10月21日～	12月20日
第3回 弘前大学発の被ばく医療への取組 —震災前からこれまで—	2014年	1月20日～	2月21日
第4回 富田晃 写真展『いのり—東日本大震災で亡くなられた方々の魂に捧ぐ—』	2014年	4月1日～	5月31日
第5回 官立弘前高等学校の日々—写真が伝える寮生活—	2014年	6月9日～	8月29日
第6回 The Center of Healthy Aging Innovation	2014年	10月23日～	12月19日
第7回 トルクメニスタン国特別展	2015年	2月18日～	3月31日
ミニ企画展 弘前高等学校北溟寮記念祭絵葉書展	2015年	8月6日～	9月30日
第8回 小川原湖民俗博物館旧蔵資料と渋沢敬三	2015年	10月17日～	11月21日
第9回 平成27年度退職教員の業績	2016年	1月19日～	3月23日
第10回 メキシコ・オアハカの民芸とイサイアス・ヒメネスの動物木彫り	2016年	3月28日～	5月9日
第11回 下北の地形・地質とジオパーク	2016年	5月12日～	7月11日
第12回 弘前大学の考古学—弘大考古のあゆみとその成果—	2016年	8月1日～	10月29日
第13回 平成28年度退職教員の業績	2017年	1月17日～	3月23日
第14回 被ばく医療・研究を体感する	2017年	4月5日～	6月2日
第15回 手製本の楽しみ 関典子製本作品展	2017年	6月15日～	8月26日
第16回 白神山地の豊かな自然とその変化	2017年	9月4日～	10月21日
第17回 被災地と向き合う —文化財レスキューの取り組み—	2017年	10月28日～	12月16日
第18回 弘前×フランス 外国語教育×フィールドワークの可能性	2018年	2月21日～	4月28日
第19回 「石」の世界	2018年	5月12日～	7月12日
第20回 大学で描く～学び、記録する学術スケッチ～	2018年	7月30日～	9月29日
第21回 古代地中海の死後の世界 壁画と副葬品に見る死生観	2018年	10月19日～	12月25日

第8節 ボランティアセンター

資料1 ボランティアセンター実績

(単位：人)

		教員	学生	一般	その他	計	実施回数
H23年度	野田村支援・交流活動	78	766	528	22	1394	39回
H24年度	野田村支援・交流活動	12	62	117	0	191	9回
H24年度	野田村支援・交流活動	7	221	60	0	288	24回
H25年度	周知依頼	0	1	0	0	1	1件
	派遣依頼	0	46	1	0	47	14件
	野田村支援・交流活動	24	252	204	36	516	20回
	除雪活動	0	10	0	0	10	3回
	小計	24	309	205	36	574	38回
H26年度	周知依頼	0	0	0	0	0	0件
	派遣依頼	0	44	1	0	45	15件
	野田村支援・交流活動	15	232	168	11	426	15回
	除雪活動	1	17	3	0	21	3回
	講演・その他	1	2	0	0	3	1回
	小計	17	295	172	11	495	34回
H27年度	周知依頼	0	0	0	0	0	0件
	派遣依頼	1	41	0	0	42	12件
	野田村支援・交流活動	18	207	184	8	417	15回
	弘前市学習支援事業	46	120	0	31	197	32回
	除雪ボランティア活動	1	19	1	0	21	3回
	講演・その他	3	51	13	8	75	4回
	小計	69	438	198	47	752	66回
H28年度	周知依頼	0	5	0	0	5	5件
	派遣依頼	0	32	1	0	33	11件
	野田村支援・交流活動	6	48	90	2	146	5回
	弘前市学習支援事業	45	206	0	45	296	45回
	みらい学習支援活動	22	132	0	0	154	22回
	熊本地震支援活動	14	60	9	4	87	14回
	野田村 災害支援活動	2	6	10	0	18	2回
	久慈市 災害支援活動	3	26	44	0	73	2回
	岩泉町 災害支援活動	5	52	69	1	127	4回
	除雪ボランティア	5	58	0	0	63	3回
	講演・その他	20	37	57	7	121	3回
	小計	122	662	280	59	1123	116回
H29年度	周知依頼	0	14	0	0	14	9件
	派遣依頼	2	100	0	0	102	16件
	野田村支援・交流活動	6	44	76	4	130	5回
	弘前市学習支援事業	47	234	0	45	326	47回
	みらい学習支援活動	19	92	1	0	112	19回
	九州北部豪雨支援募金活動	5	37	0	0	42	7回
	深浦エコサテ 滞在型学習支援	1	6	0	0	7	1回
	除雪ボランティア	5	50	0	0	55	2回
	講演・その他	18	29	49	17	113	3回
	小計	103	606	126	66	901	109回
合計		432	3359	1686	241	5718	435回



2011年4月 野田村震災復興支援活動



2011年7月 野田村震災復興支援活動



2014年9月 野田村児童クラブでの学習支援



2016年4月 コミュニティ茶屋の様子



2018年1月 除雪活動の様子

第9節 放射線安全総合支援センター

資料1 青森県内の原子力施設及び被ばく医療体制【震災前】



資料2 文部科学省特別経費 『緊急被ばく医療支援人材育成及び体制の整備』 (平成20年度～24年度)

平成20年度～24年度

弘前大学大学院保健学研究科
緊急被ばく医療人材育成プロジェクト

文部科学省特別教育研究事業

CONTENTS

- 事業概要
OUTLINE
- 事業目標
OBJECTIVE
- 活動報告
REPORT
- アクセス
ACCESS
- リンク
LINK

緊急被ばく医療人材育成プロジェクト トップページ

Radiation
Emergency
Medicine

<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibaku/>

緊急被ばく事故への対応策の一つとして本学と放射線医学総合研究所等との連携により、緊急被ばく医療の基盤となる体制の整備を図る。教職員の研修や学部教育、大学院教育、現職者教育の体制整備を行った。

資料3 被ばく医療プロフェッショナル育成計画

文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」事業 地域再生人材創出拠点の形成

平成22年度～26年度



本事業は、学内はもとより、県内の原子力関連施設や医療施設における医療専門家や、防災対策に関与する行政機関における人材などの育成を、青森県との連携の下に推進することによって、地域全体としての緊急被ばく医療体制の充実を図り、もって住民の安心・安全に貢献する。

資料4 福島原発事故対応における弘前大学の活動の様子

避難所におけるスクリーニング（7月末までに20チーム、5000名以上の県民を検査）



20キロ圏内避難者の一時帰宅支援（5月下旬から8月上旬まで計11チームを派遣）

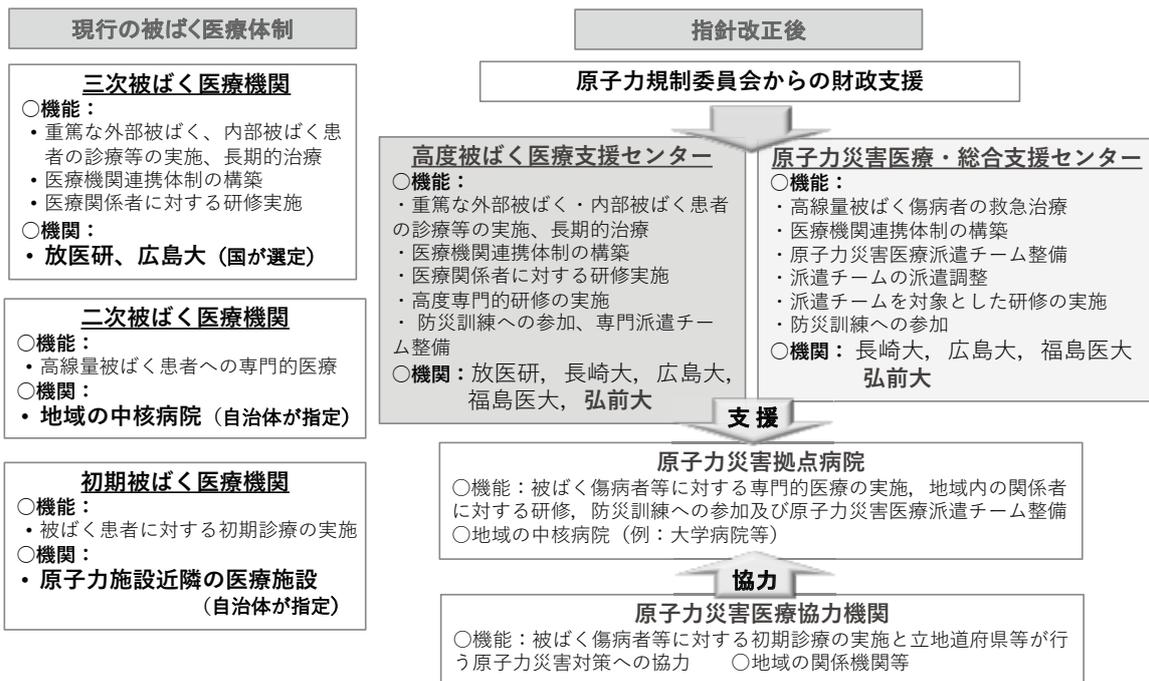


資料5 被ばく医療における安心・安全のための国際的な教育研究拠点形成事業



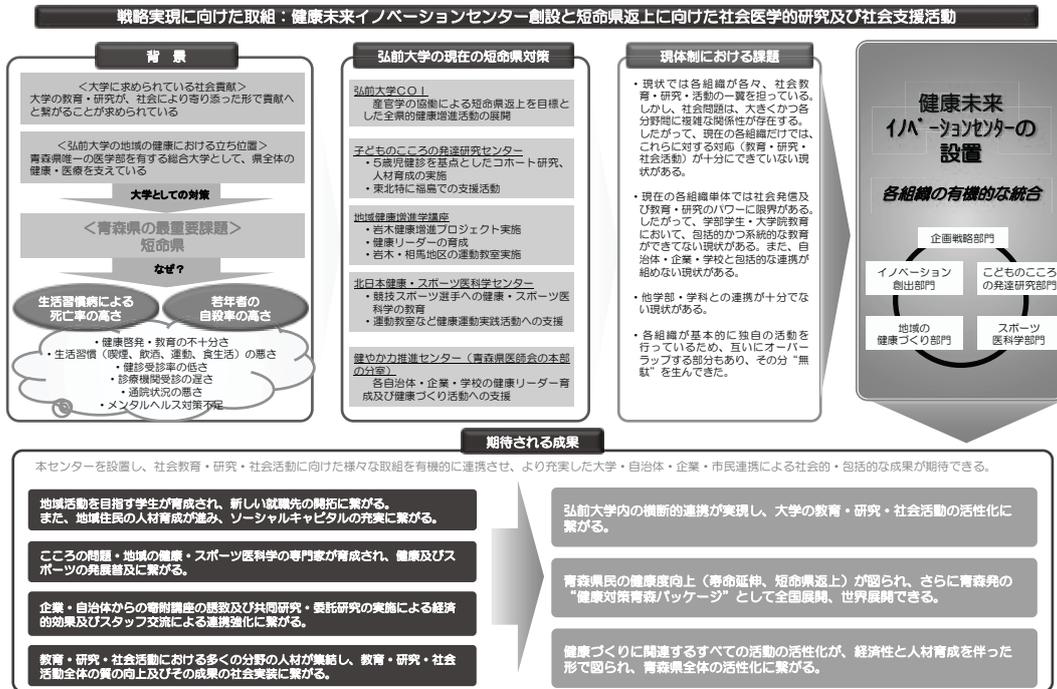
資料6 原子力災害時における医療体制の整備～弘前大学の新たな使命～

大規模な自然災害等との複合災害時において、被ばくのおそれのある傷病者への診療や関係機関との連携を強化するため、原子力災害対策指針を改正し、原子力災害時の医療体制を整備。

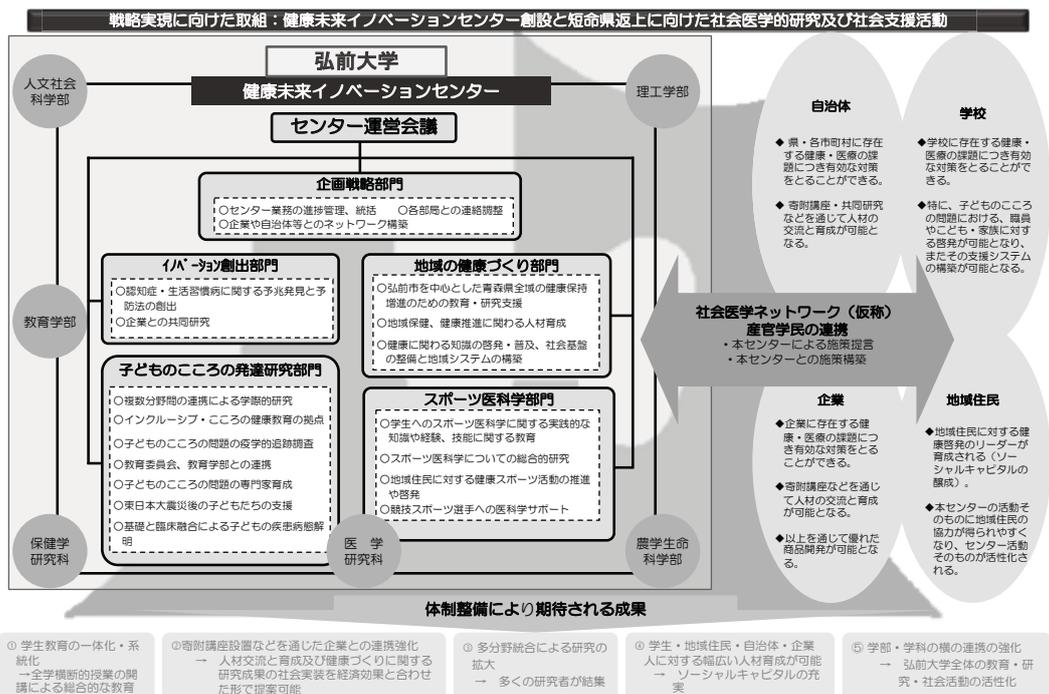


第10節 健康未来イノベーションセンター

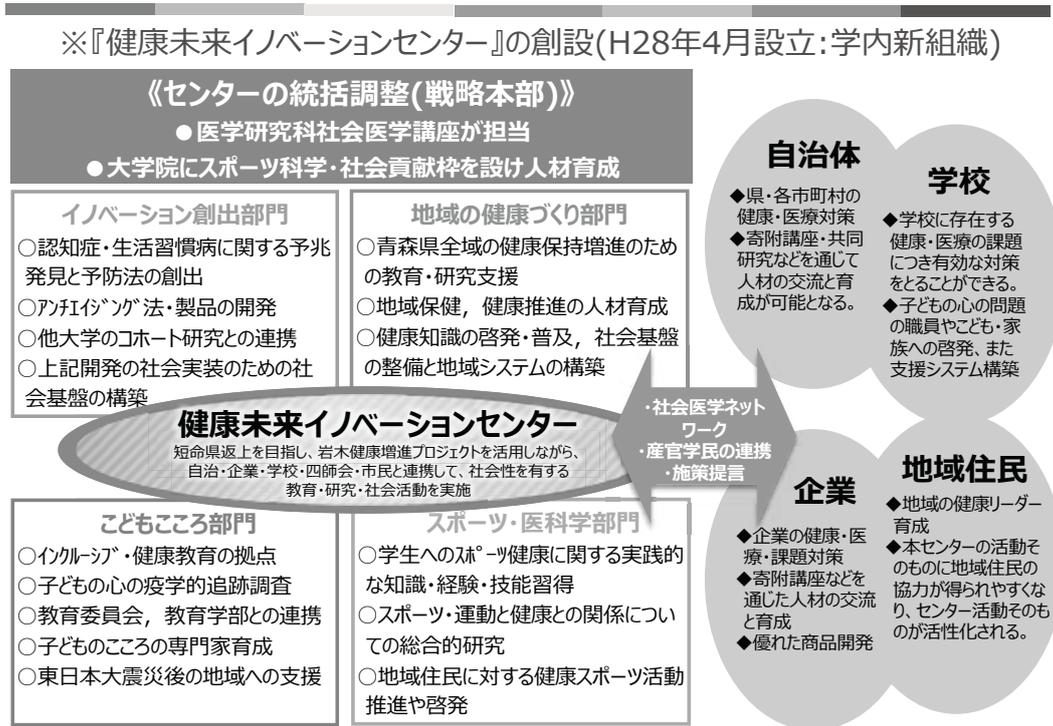
資料1 「戦略②：こころ・からだの健康増進に向けた社会医学的観点からの総合的な健康づくり教育研究拠点の形成」の概要



資料2 「戦略②：こころ・からだの健康増進に向けた社会医学的観点からの総合的な健康づくり教育研究拠点の形成」の体制



資料3 持続的な独自のイノベーション・プラットフォーム構築



資料4 アンダーワンルーフの拠点：健康未来イノベーションセンターのご紹介

医学部キャンパスの中心エリアにH29年度末に施設完成しました（開所式5/22）



1F 産官学民交流フロア
 2F イノベーション創出フロア
 延べ床面積 840m²

1F 産官学民交流フロア



イノベーションサロン：
 参画企業、大学、自治体、地域住民が気軽に交流できるスペースです。



新型健診プログラム開発室：
 新型健診の開発を目的とした広いスペース。健康・予防医学に係ることであれば、広く利用可能です。（要予約）座席は全て可動で、間仕切りにより会議室として利用することも可能です。

【活用例】
 ・健診プログラムの開発・実証
 ・健康セミナー等の講演会
 ・健康・予防医学に係る各種会議
 ・参画企業・他大学による情報発信
 ・本学各講座の研究会・勉強会等
 ・まずはCOI関連の定例会議からスタート

2F イノベーション創出フロア



オープンラボ：
本拠点参画企業・他大学研究者用のスペース。
状況に応じて、個人用机や打合せ机、TV会議等の使用ができます。
荷物保管用のロッカーが24個あります。

【活用例】
・参画企業・他大学研究者の執務
・参画企業・他大学研究者の本学出張時の拠点
・参画企業間や大学間、自治体、本学研究者との打合せ
・本学研究者の打合せ



主な先端機器：



次世代シーケンサー



質量分析装置



全自動ハイスループット電気泳動システム



自動ELISA装置



細胞分離システム



共焦点定量イメージサイトメーター

先端機器室：セキュリティレベル「中」
質量分析装置等を設置。本学や参画企業の研究者に使用いただけます。

クリニカルシーケンサ室：セキュリティレベル「高」
本学や参画企業の研究者が遺伝子、腸内・口腔内細菌叢と健康の関係を明らかにするために、ヒトゲノム、マウスゲノム、腸内細菌叢メタゲノム解析などに使用します。

データ解析室・サーバー室：セキュリティレベル「高」
本学や参画企業の研究者がスーパーコンピューターを用いてビッグデータ解析を行います。

第11節 学生総合相談室

資料1 学生総合相談室相談件数一覧

相談内容等	年度	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度
	件数	11	3	2	5	7	8	10	4	11
修学上	延べ数	14	4	5	12	12	9	12	4	14
	(内メール)	0	1	0	7	0	0	5	0	0
進路	件数	10	9	1	7	9	10	5	7	12
	延べ数	15	14	2	7	9	17	12	9	12
	(内メール)	0	0	0	0	0	0	0	0	1
経済上	件数	1	0	0	5	3	1	2	1	0
	延べ数	1	0	0	5	3	1	4	1	0
	(内メール)	0	0	0	0	0	0	3	0	0
対人面	件数	7	9	0	6	7	6	5	2	6
	延べ数	29	11	0	14	9	6	7	2	6
	(内メール)	15	0	0	2	0	0	0	0	0
精神面	件数	4	6	0	4	11	12	5	6	10
	延べ数	5	8	0	5	12	17	5	6	11
	(内メール)	0	0	0	0	0	0	0	0	3
健康面	件数	1	2	1	1	2	4	4	2	1
	延べ数	1	2	4	1	2	6	7	3	1
	(内メール)	0	0	0	0	0	0	3	0	0
その他	件数	13	2	0	1	12	9	6	0	3
	延べ数	14	6	0	1	13	17	9	0	3
	(内メール)	0	0	0	0	1	0	2	0	0
合計	件数	47	31	4	29	51	50	37	22	43
	延べ数	79	45	11	45	60	73	56	25	47
	(内メール)	15	1	0	9	1	0	13	0	4